

様式 1

授業科目 児童福祉論 I

科目コード番号

【担当教員名】 豊田 保	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

<概略>

児童家庭福祉についての基本的考え方と理念、歴史、実施体制、サービスの実際、援助論について理解する。

- 1 子どもを取り巻く社会状況と児童家庭福祉ニーズを理解する。
- 2 児童家庭福祉についての基本的考え方と理念について理解する。
- 3 児童家庭福祉の歴史を理解する。
- 4 児童家庭福祉の実施体制について理解する。
- 5 児童家庭福祉サービスの実際について理解する。
- 6 児童家庭への援助方法論を理解する。

<学習目標>

- 1 指定教科書の内容を把握し、理解する。
- 2 自分が関心をもつ分野について、関連図書によって理解をより深める。
- 3 児童家庭福祉に関するニュース記事等をスクラップし、現実的な理解を深める。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	児童家庭福祉とは何か	現代社会の動向との関連で、児童家庭福祉のニーズを理解する	講義による (以下、同じ)
2	子どもを取り巻く社会状況	人口構造・家庭環境の変化と児童家庭福祉ニーズについて理解する	
3	同上	地域社会の変化と児童家庭福祉ニーズについて理解する	
4	児童福祉の理念	子どもの権利とその歴史について理解する	
5	児童福祉の歴史	欧米における児童（家庭）福祉の歴史を理解する	
6	同上	わが国における児童（家庭）福祉の歴史を理解する	
7	児童家庭福祉の実施体制	児童家庭福祉法制を理解する	
8	同上	児童家庭福祉機関・施設について理解する	
9	児童家庭福祉の実際	母子保健、児童健全育成サービスについて理解する	
10	同上	保育、児童養護サービスについて理解する	
11	同上	児童虐待、ひとり親福祉サービスについて理解する	
12	同上	障害児福祉サービスについて理解する	
13	児童家庭福祉援助	児童家庭福祉援助の基本的視点を理解する	
14	同上	児童家庭福祉におけるソーシャルワーカーの役割について理解する	

【評価方法】

講義への出席状況、期末試験又はレポートを総合して評価する。

【履修上の留意点】

最低でも、教科書を一度以上読了すること。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	『児童福祉論』	松原康雄・山縣文治 編著	ミネルヴァ書房	2001年発行 2600円+税
参考書	社会福祉小六法	ミネルヴァ書房 編集部編	ミネルヴァ書房	1600円+税
	社会福祉基本用語集	用語集編集委員会編	ミネルヴァ書房	1500円+税
その他 (プリント等)	講義毎にプリントを配布する			